

## 座間市における事件の再発防止策の概要

平成29年10月に座間市で発覚した9名の方々が亡くなった事件は、加害者が、SNSを利用し、自殺願望を投稿するなどした被害者の心の叫びに付け込んで、言葉巧みに誘い出し殺害したという極めて卑劣な手口によるものとみられる。政府一体となって、関係者の協力を得つつ、以下の再発防止策に迅速に取り組む。

### 1. SNS等における自殺に関する不適切な書き込みへの対策

#### (1) 削除等に対する事業者・利用者の理解の促進

○ 利用規約等(自殺の誘引情報等の書き込みの禁止・削除等)に関する事業者への要請、利用者への注意喚起

#### (2) 事業者・関係者による削除等の強化

- ① 事業者による自主的な削除の強化
  - 青少年ネット利用環境整備協議会の提言を踏まえたSNS事業者による取組への協力
- ② 事業者による削除を支える団体の支援
  - インターネット・ホットラインセンターの機能強化による削除依頼の支援
  - サイバーパトロールの強化

### 2. インターネットを通じて自殺願望を発信する若者の心のケアに関する対策

#### (1) ICTを活用した相談機能の強化

- ① ICTを活用した相談窓口への誘導の強化
  - 検索事業者・SNS事業者と自殺対策関係NPO法人をつなぐ場の設置
  - SNS等に対応した相談窓口への誘導の強化
- ② SNS等を活用した相談対応の強化
  - 地方公共団体におけるSNSを活用した相談事業の実施
  - 広く若者一般を対象としたSNSによる相談事業の実施

#### (2) 若者の居場所づくりの支援等

- SNSの出し方に関する教育やSSSを受け止めて支援する方策も組み合わせた新たな居場所づくりのモデルの作成
- 自殺総合対策大綱に基づく若者等の自殺対策の更なる推進

### 3. インターネット上の有害環境から若者を守るための対策

#### (1) 教育・啓発・相談の強化

#### (2) 改正青少年インターネット環境整備法の早期施行

- ① 今後の検証は、自殺対策基本法に基づく年次報告の作成過程で確実にを行い、政府の自殺総合対策大綱の見直し等に反映
- ② 関連施策は、青少年インターネット環境整備基本計画の次期見直しに反映
- ③ 本再発防止策に限らず、自殺総合対策大綱の推進状況は、新たに設置する有識者会議で評価

# 座間市における事件の再発防止に向けた主な対策（厚生労働省）

	ICTを活用した相談窓口への誘導	SNSによる相談	若者の居場所づくり支援
2017 年 度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「<u>自殺</u>」「<u>死にたい</u>」等の検索があった場合に適切な相談窓口へ誘導する仕組みづくり</li> <li>・ 検索事業者等において、自殺に関する用語が検索された場合、SNS等に対応したものを含めたより幅広い相談窓口を紹介できるようHPを見直し。</li> <li>・ 検索事業者等にHPPを活用依頼</li> <li>・ 厚労省HPPの改善（スマートフォン対応など若者向け改善に着手）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 広く若者一般を対象とする、SNSによる相談事業の開始（地域自殺対策強化交付金を活用） （3月（自殺対策強化月間）に実施）</li> <li>○ IP電話に対応した公的な相談窓口の設定について検討・実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自殺対策に資する若者の居場所づくり好事例を収集し、全国の自治体に横展開。</li> <li>○ 厚労省内外の他の居場所づくり関連事業と連携。</li> <li>○ SOSの出し方に関する教育について、文科省との連携通知を发出。</li> </ul>
2018 年 度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 若者を相談窓口につなげる支援、SNSによる相談ノウハウの向上、居場所づくりに対する支援について、具体的な取組と実践的研究を一体的に実施。（地域自殺対策強化交付金を活用）</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ インターネットの活用等による新たな情報提供等の仕組みの開発。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ SNSによる相談事業の本格実施へ相談事業の実施状況を検証しながら、相談体制の整備方策を検討、相談支援ノウハウを集約したガイドラインを作成、相談員の研修を実施。 （文科省と緊密に連携。）</li> <li>・ 研究成果の実践への還元を図り、SNS相談をレベルアップ、取組を波及・拡大。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 若者向け居場所活動の推進（地域自殺対策強化交付金を活用）</li> <li>・ ゲートキーパー養成研修や、SOSの出し方に関する教育のノウハウ等も組み合わせた、新しい居場所づくりのモデルを作成。</li> </ul>